

貴尊なる程度に於てなさしむるのであります、抑々吾人真正の幸福は、この貴尊なる程度に於ける感情的生活をなし、得るより成るものと考へます。

## 薬箱

若い夫婦で形造られた新家庭は別ですがこれはお祖母さんのお嫁入のときの着物であるとか、これはお祖父さんのお産毛であるとか云ふやうな、ふるい物の保存してある御家であれば、押入の奥とか、棚の隅の方などに煤ぶつた薬箱と云ふものが必ずあります、其中を改めると、いろいろの薬が出て参ります、之を何のくだらないと云つて仕舞へばそれまでですが、心して見ると、不言不語の間に時世の様を知ることが出来まして、これを因に種々様々の思出話などが老人の口から湧き出でまして、家庭の楽しい趣味と云ふものは、此處からも澤山拾ひ取ることが出来ると思ひます、

さて其薬箱の中にはどんなものが藏められてありませうか、家々に依て多少の相違はありませうが、先づ東京の中流社會を中心として申して見ますと、越中富山の萬金丹、寶丹、熊の膽、牛膽、櫻樹の皮、火傷のおまちなひ、即功紙などであります、こんなものを見ながらいろいろ考へて居りますと、これ等の物が遠い昔の世を語るやうな心地がするではありませぬか、醫學の進歩した今の世に生れ合せて私共は、其人々の天賦の幸不幸で、假令どのやうな不足がありませうとも、生命を保持する上に於ては、齊しく感謝しなければならぬと思ひます、今の世には此様な薬箱は要らぬでありませうが、無論内容は違はなければなりません、が、薬箱の備付と云ふことは大切なことであらうと思ひます、假令どの様に醫療品や薬品が用意してありませうも、彼方此方に散漫して居るやうなことは、決して急場の役には立ちませぬのみならず、例へば全く特質を失つて仕舞ふ事があります、例へばガーゼの如き、脱脂綿の如き、取扱ひが悪ければ折角消毒した清潔物と云ふ本質は消

失せて了みます、今日では一般の衛生思想は大分普及されて來ましたが、本末相反するの怨みはななくもないやうに思ひます、私共が子孫に披て見られて、恥かしくない家庭常備の藥箱の中に收むべき品々はどんなものでありませうか、それは次の品々であります

脱脂綿 ガーゼ  
檢温器  
安全針  
痰壺  
絆創膏  
亞鉛華  
石炭酸水  
アンチピリン  
酒精  
沃度丁幾  
脱脂綿

氷嚢  
膿盤  
尿管  
吐根末  
ピクリシ酸  
昇汞水  
重碳酸ナトリウム  
ベルツ氏液  
グリスリン  
ワゼリン

繃帶  
ピンセット  
護謨管  
吸吞  
便器  
硼酸  
硼酸軟膏  
アンモニア水  
苦味丁幾  
ワゼリン  
別段に其用途を記すまでもなく、いろいろの物に遣ふことが出來ますから、家庭には是非絶やさず用意して

置くべきものであります、併し塵埃の積るやうな處に出し放しにして置きましたは、是れは消毒をしたものであると云つて安心をすることは出来ず、藏つて置くのにも其心を忘れては何にもなりません、脱脂綿を一打買ひますと、堅牢な紙に包んでありますから、包みの一方をうまく切り、そこから要るだけを出して遣ふのが一番宜しう御座います。

▲ガーゼ ガーゼは粗く織つた軟い布で消毒がしてありますから、創傷を洗つたり膏藥を延ばしたり又は罨法などをいたすにも之を用ひますと、變り便利であります、ガーゼには普通の物と一旦消毒藥液に浸したものと二種ありますから、腫物創傷などに當てますものは、消毒したものを擇ばなければなりません。

▲繃帶 繃帶は酒本綿で造るのであります、種類は澤山御座いますが、普通の家庭に備へて置きたいのは、三角繃帶の巻軸繃帶の二種で御座います、巻軸繃帶とは、普通洒木綿の兩耳の堅い處を斷ち去りそれを三つか四つか或は五つ位に引裂い

て巻いたもので、其用所に從て、幅の廣いのも狭いのも勝手に選んで用ひます、三角綳帶と云ふのは、三四尺の金巾の角と角とを合はせ、二つにした位の大きさのもので、大變重寶なものであります。

▲**檢溫器** 醫師が病人を診察します場合に、最も大切なのは體溫の如何であります、此處に記すまでもなく、皆さんは御承知の通り、健康な人の體溫は、普通三十六度から三十七度の間であり、尤も人に因て多少高溫の人もあります(是より昇溫しましたときは、それほど氣分は悪くなくつても、身體の何處かに故障のある證據であり、又風邪などを引きまして頭痛がしたり、氣分が鬱陶しくても、熱の無いときは先づ安全でありますから、一軒の家には必ず檢溫器を備へて置かなければなりません、此檢溫器と云ふのは、直きに狂ひ易いものでありますから、其取扱ひは丁寧にし、使用した後は、靜かに大きく振つて、水銀を下げ液下に挿入する部分は奇麗に拭いて置かなければなりません。

●**ビンセット** 創傷腫物などには成るべくビンセットを用ひて患部へ直接に手を觸れないやうにすることは、病人の爲めにも看護者の爲にも、利益であります。

▲**安全針** 別に用途を述べるまでもなくこれを用意して置きますと、病人のありました節は勿論、其他の場合にも大變重寶することがあります。

▲**氷嚢と水枕** 氷嚢は少し價は高くても丈失なものを用意して置かなければなりません、それと同じに、口を縛る糸のやうなものも適當な品を一つ所に整然と備へて置かなければなりません、屢々病人のある家庭では、自然の經驗で分ることですが、馴れないと斯う云ふ場合に非常に狼狽して、色糸などで氷嚢を縛つたり糸が細過ぎたり太過ぎたりしまして大變餘計な手数がかゝりますのみか、患者の靜安を破るやうなことになります、水枕は護謨製の物で、これも備へてあれば結構です。

▲**護謨管** 細い護謨管は素人が用ひますには起さるることの出来ない大病人が薬を飲むとき、吸吞

の口や薬櫃の口に此護謨管を着けて牛乳ソップ等を飲ませますと大變便利であります、其他いろいろの用法がありますが、これを使用すると同時に別に看護の技を要するやうなことは素人が行つては却て危険ですから、爰には只是等の物をも用意して置いていざと云ふとき醫師の命を敏速に達し得る様になさいと云ふに止めて置きます。

## 學齡兒童と父兄

弘田醫學博士談

▲特に學齡兒童に注意　一概に兒童と言つても其の範圍は頗る廣いが特に學齡兒童に對して注意すべきは父兄が學校以外の日課を課する事である、言ふまでもなく現今の學制は普通の兒童に適するやうにしてあるのであるが然し多數の中には餘りに輕る過ぎる者もあれば又重過ぎる者もある、例へば二碗の食で腹一杯になる兒童もあれば四碗の食も尚且腹を満だすに足らぬ兒童もあると同じで

ある  
▲原因は父兄に在り　斯くの如く同じ兒童の中でも力は銘々相等しく無いのである、けれども學校では所謂個人教育を行ふ事が出来ないから止むを得ず其中間を取つて平均三碗の食を與へて居るのである、故に或る一部の兒童は既に其量の餘りに多過ぎるのに困つて居る、然るに親はそんな事には一向気が付かないで無暗に焦慮て果ては家庭教師まで雇つて兒童に勉強を強る又女兒であれば學校の日課以外に家に歸ると音楽だとか茶の湯だとか活花だとか云ふ遊藝を教へるので遂には神經衰弱を起して其結果發育不良に陥り折角延びかゝつた芽を萎縮さしてしまふやうになるのである、是は全く兒童の罪ではなくて父兄が悪いのである、  
▲大器は晩成を期せ　幼稚な兒童に過重な負擔を強いる事の不可な理由は前申した通りであるが是は畢竟父兄が他の兒童に後れさせまいと焦慮の結果に外ならないのである、けれども幼少時代の俊秀が必ずしも成長後豪くなるに極つては居ない、獨要するに少年時代は何うでも十分成長をして、獨